

九条北小学校 校長室だより

NO.41 令和2年6月29日



大阪市のすべての小学校・中学校・高等学校でいじめを許さない学校づくりに取り組んでいます。その取り組みの1つとして、5月の連休明けに「いじめについて考える日」を設定しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、日程を変更して取り組むことになりました。

「いじめについて考える日」の目的の1つに、次の内容があります。【**「いじめを許さない学級・学校づくり」は仲間づくりの基本であることから、子どもたちがお互いについてよく理解し合い、相手の立場に立って考える機会とする。**】

★ 6年生が1年生の清掃をサポート！ ★

6年生が、1年生の清掃をサポートしてくれています。やさしく接する姿に、見ている方も暖かい気持ちになってきます。1年生は、6年生のお兄さん・お姉さんが来てくれるのが、うれしくて、はりきって掃除をしています。



★ 「いじめについて考える日」！ ~児童朝会のお話~ ★

6月29日（月）、今日は、九条北小学校の「いじめについて考える日」です。大阪市では、平成29年度より、全小学校・中学校・高等学校で、「いじめについて考える日」に取り組んでいます。今年で4年目になります。なぜ、取り組んでいるかというと、いじめに苦しんでいる人がいるからです。中には、いじめが原因で命を落とした人もいます。最近では、お隣の兵庫県の中学生が、自ら命を絶ったという、その原因がいじめのようだという報道がありました。

九条北小学校では、いじめで苦しんでいるお友だちを出したりませんね。九条北小学校でいじめをなくすために、みんなに心がけてほしいことを伝えます。

それは、「いやだ やめて」という言葉や、これと同じ意味の言葉をお友だちが言ったとき、そのお友だちの気持ちに気づいてあげてください。自分が、相手の「いやだ」と思うことをしているときは、すぐにやめましょう。また、自分でないけれど、相手の子が気づいていないときは、「いやだ、やめて って思っているよ。」と教えてあげてください。時には、「いやだ やめて」と心で思っていても、声に出していえないお友だちもいます。そういった、お友だちの気持ちに気づいてあげることができる人が増えると、いじめのない、だれもが楽しいと思える学校になります。みんなの力で、九条北小学校をそのような学校にしてください。みんなで頑張りましょう！

